

案件に関連する指摘・対応状況

国名：案件名
フィリピン：イフガオ州小水力発電計画
(1) 問題・指摘の概要
計画通りの発電能力を持つリクッド小水力発電所が建設されたが、発電所の稼働が不十分であり、定量的効果を示す発電端電力量（発電機が作る電力量）は目標年から事後評価年に至るまで、目標値を大きく下回ったとして、2020年度の事後評価において総合評価「D」となった。
(2) 原因
売電契約が未承認であることや、大雨による導水路などの土木施設の破損によるため、発電所の稼働が不十分である。
(3) これまでの対応及び現状等
2022年2月に売電契約の承認を得て、導水路等のメンテナンス・応急修理を行い、2022年11月から売電を再開した。
(4) 今後の対応・教訓等
実施中のフォローアップ協力を通じて、小水力発電所の持続的な運転に向けて発電施設の修復計画を策定する。 今後の教訓としては、発電所の許認可取り付けは地方政府が主体となるため、計画段階にて、実施主体の能力を勘案した各手続きの現実的な所要時間とリスクを十分に見積もり、また、計画段階にてリスクと評価された内容に対して、必要なモニタリングを行うとともに、適時改善方法を含む助言を行う。